



機械制御オイルレベルコントロール(OLC)設置説明書 モデル 20-590 調節可能、25-590 調節不可能

機械制御オイルレベルコントロール(OLC)には、調節可能と調節不可能の2種類があります。オイルレベルコントロールは、多重ラック/パックシステム用です。このコントロールは、コンプレッサへのオイルの流れを常に維持し、クランクケースを特定レベルに保つように作られています。Temprite 920Rシリーズセパレータのユーザのほとんどは、A-7減圧バルブを希望圧に調節することによって、オイルレベルコントロールへのオイルバックをモニターしています。システム要件をよく理解しておいてください。

1. コンプレッサへの電力をオフにします。
2. コンプレッサとオイルセパレータフィードをシステムから分離させます。
3. コンプレッサから冷却剤を回収、またはリサイクルしてください。
4. コンプレッサが減圧されていることを確認してください。
5. サイトグラスをコンプレッサの希望する側から取り外します。ボルトとOリングはとっておいてください。
6. 外しておいたボルトとOリングを使ってOLCを取り付けます。
7. サイトグラスをきれいにし、Oリングの溝がOLCフランジの方向になるようにして、ついてきたOリング1個、クアドOリング1個、ボルト、ナットで取り付けてください。
8. オイル返却管をセパレータまたはオイルリザーバに接続します。閉止バルブをOLCのオイル流入口に取り付けてください。
9. オイルイコライザーの接続によって、オイルレベルコントロールが相互接続され、複数のコンプレッサ間のオイル移動を可能にします。オイルが吸入管を通って戻ってくるときにオイルレベルが急に上昇することがあるため、この移動が必要になることもあります。
10. コンプレッサと相互接続管を空にします。
11. 全ての遮断弁を開けてください。
12. コンプレッサを始動し、オイルレベルをコンプレッサメーカーのガイドラインに合わせて調整してください。
13. OLCは、工場出荷時に30 PSI圧力差でサイトグラスの約1/2のレベルに調整されています。調節可能モデルでは(20-590)、調節ねじを1回転させると(360度)、レベルを約0.05” または1.27mm変えることができます。ねじは一番上から一番下まで、9.5回転させることができます。ねじはその限度を超えて、無理に回さないでください。調整不可能なモデル(25-590)に関しては、差圧を調節してください。
14. レベル調節をしたら、システム内のオイルレベルが正常化するのを待ちます。レベルが正常化するのにかかる時間は、システムのサイズと差圧によります。一般的に、差圧が低いと、時間がかかります。

ご質問があります？ 1-800-552-9300、630.293.5910 で電話するか、または
temprite@temprite.com メールでご連絡ください。